

# 久慈の復興支援PR

NPO法人 東京で特産品販売

【東京支社】久慈市のNPO法人北いわて未来ラボ（安田玲美理事長）は3日、東京・金町で開かれた被災地復興支援イベント「ブライトフェスタ金町2012」に出展し、復興状況を伝えながら特産品を販売した。

メンバー5人が参加し、久慈地域の海産物

や木工雑貨など約80点を出品した。同NPOが手掛けた被災地へのメッセージ用紙が入ったのだ塩入りクッキーも販売。高台移転の計画やがれきの中を走る三陸鉄道の写真なども掲げて復興の様子も紹介した。中平均副理事長は「首都圏のイベントは初めて。震災が風化しないよう被災地が今も頑張っていることや今後も支援をお願いしたいということをお伝えたい」と話す。



のだ塩入りオリジナルクッキーなどを販売し、復興状況を伝えるNPO法人北いわて未来ラボ



震災からの復興をアピールしようと、久慈地方の名産品を販売するスタッフ

## 久慈・NPO法人「北いわて未来ラボ」

# 名産品を販売

# 復興アピール

### 首都圏だより

久慈市のNPO法人「北いわて未来ラボ」(安田玲

美理事長)は3日、東京・金町の商店街広場で、久慈地方の名産品の販売会を開催し、東日本大震災からの復興を都民らにアピールした。(田中秀知)

JR金町駅前の複合工品、ヤマブドウの商業施設「ヴィナシスユースなどの名産品を金町」の商店会が、岩販売。来場者は、復興手帳や青森県などの団支援の思いを込めながら参加を呼び掛けて買求めた。

また、十和田観光電気、同鉄が鉄道関連グッズを販売した他、青森県のリンゴ販売コーナーも人気を博した。

会場では、野田村の「のた塩」を使ったオリジナルクッキーや、津波で流された沿岸部のクロマツを使った木とともに、少しずつ元

気を取り戻してきた久慈地方をPRしたい。地元の産業活性化にも

つながってほしい」と期待を込めた。